

平成30年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技

試合日	2018年8月6日(月)	開志国際	95	28 - 15 18 - 19 24 - 17 25 - 24	75	明成
開始時刻	11:40					
会場	一宮市総合体育館					

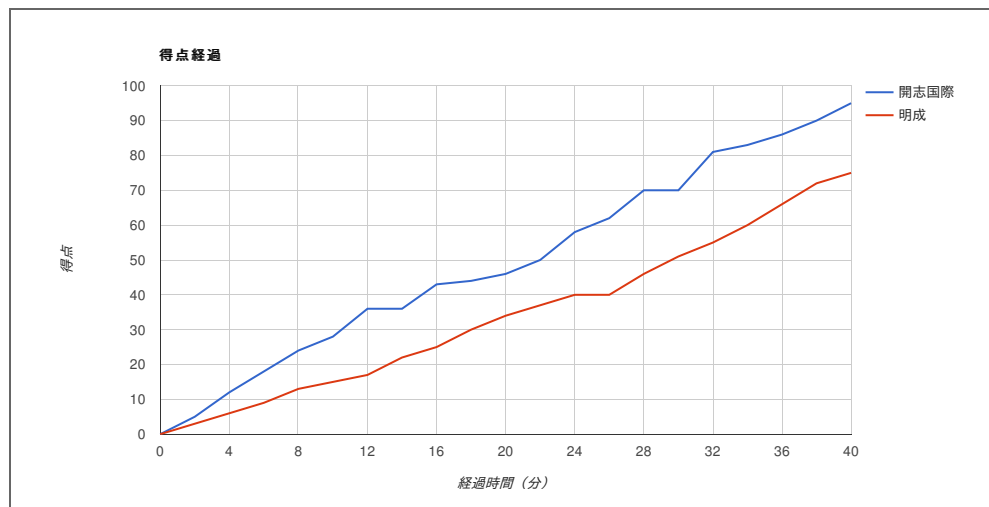
開志国際

No.	選手名	GS	PTS	3P		2P		DK	FT		RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	MN
				MA	%	MA	%		MA	%	OR	DR	TOT								
4	小池 文哉	●	13	2-6	33	3-7	42	0	1-2	50	1	2	3	2	0	0	2	2	0		33:34
5	小栗 瑛哉	●	5	1-4	25	1-1	100	0	0-0	0	1	5	6	4	0	0	2	1	0		38:39
6	和田 蓮太郎	●	16	2-4	50	3-4	75	0	4-7	57	1	5	6	10	0	2	3	1	0		37:55
7	丸山 遼		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0		1:05
8	相馬 迅		3	1-2	50	0-1	0	0	0-2	0	3	0	3	0	0	0	1	0	0		6:33
9	清水 瑠衣		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0:32	
10	高木 拓海		0	0-1	0	0-1	0	0	0-0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0		6:26
11	板澤 明日起		4	0-0	0	2-3	66	0	0-0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0		5:48
12	ジョーンズ 大翔	●	15	2-6	33	4-8	50	0	1-3	33	0	2	2	1	0	0	0	4	0		30:01
13	永原 陸		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0:32
14	JOOF Yusuf		30	0-0	0	14-22	63	1	2-3	66	6	13	19	3	0	1	3	2	0		21:30
15	S YLLA ELHADJI AS S ANE	●	9	0-0	0	4-6	66	0	1-1	100	2	8	10	0	0	0	2	1	0		17:25
	Team/Coaches		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0		DNP
	TOTALS		95	8-23	34	31-53	58	1	9-18	50	18	39	57	23	0	3	14	12	0	0	200:00

明成

No.	選手名	GS	PTS	3P		2P		DK	FT		RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	MN
				MA	%	MA	%		MA	%	OR	DR	TOT								
4	古川 望音	●	10	2-4	50	1-7	14	0	2-3	66	2	2	4	2	1	0	0	0	0		26:32
5	川村 亮汰		12	0-1	0	6-16	37	0	0-0	0	4	3	7	4	2	0	2	3	0		22:24
6	越田 大翔	●	3	1-1	100	0-1	0	0	0-2	0	3	5	8	1	0	0	1	4	0		22:29
7	木村 拓郎	●	2	0-0	0	1-5	20	0	0-0	0	1	2	3	1	0	0	0	2	0		20:59
8	小川 祥英		0	0-1	0	0-0	0	0	0-0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0		3:40
9	井上 耀		3	1-1	100	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		4:33
10	田中 裕也	●	19	3-11	27	3-5	60	0	4-5	80	1	1	2	1	2	0	1	3	0		33:40
11	浅原 紳介	●	8	2-6	33	1-1	100	0	0-0	0	1	3	4	1	0	0	2	1	0		30:18
12	蒔苗 勇人		0	0-0	0	0-2	0	0	0-0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0		2:20
13	喜多 陸登		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		DNP
14	河合 海輝		0	0-1	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1:11
15	加藤 陸		18	4-12	33	3-8	37	0	0-2	0	1	3	4	2	1	1	1	2	0		31:53
	Team/Coaches		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0		DNP
	TOTALS		75	13-38	34	15-45	33	0	6-12	50	14	24	38	13	6	1	7	16	0	0	199:59

No: 背番号 PTS: 得点 AVG: 1試合平均得点 M: 成功数 A: 試投数 %: 成功率 2P: 2ポイントシュート 3P: 3ポイントシュート DK: ダンク FT: フリースロー RBD: リバウンド OR: オフェンスリバウンド DR: ディフェンスリバウンド TOT: 合計 AST: アシスト STL: スティール BLK: ブロックショット TO: ターンオーバー PF: パーソナルファウル, クリア・パス・ファウル, アウェイ・フロム・ザ・プレイ・ファウル, フレグラントファウル, ハンチングファウルの合計 TF: テクニカル・ファウル FO: ファールオン DQ: 退場回数 MN: 試合出場時間



戦評

創部5年目でファイナル4に残った勢いのある開志国際と、試合を重ねるごとに強さが増す明成との対戦。第1P 開志国際はハーフコートマンツーマン、明成は2-3のマッチアップゾーンでスタート。オープニングシュートは開志国際#6和田のフリースロー。立て続けに開志国際#4小池の3Pシュートで勢いづくと思われたが、明成#11浅原の3Pシュートで勢いを渡さない。開志国際はインサイドとアウトサイドでバランスよく得点していくのに対して、明成はアウトサイドシュートを中心に得点していく。試合が進むにつれてエンジンのかかってきた開志国際は、#6和田の2本連続3Pシュート、#15Syllaのインサイドプレイで着実にリードを広げていく。第1Pを28対15開志国際リードで終了。第2P リードを広げたい開志国際は#14Joofのインサイドプレイで着実にリードを広げていく。対する明成は#10田中のドライブや#15加藤の3Pシュートで追い上げを図る。さらには2-2-1ゾーンプレスを仕掛け流れを掴み始める。しかし開志国際#12ジョーンズ、#6和田のアウトサイドシュートで流れを簡単には渡さない。膠着状態が続く中、第2Pを46対34開志国際リードで終了。第3P 明成#10田中のシュートで一気に点差を詰めるかと思われたが、開志国際#14Joofのインサイドプレイで流れを渡さない。一進一退の攻防が続く中、開志国際#8相馬の3Pシュート、#4小池のドライブでリードを徐々に広げていく。対する明成はミドルシュート、3Pシュートで追い上げを図るものの開志国際の安定したディフェンスを崩すことができず、第3Pを70対51開志国際リードで終了。第4P 開志国際は#14Joofのインサイドプレイを中心に得点していく。何とか追い上げを図りたい明成は1-2-2ゾーンプレスを状況で打開しようとするが、開志国際#14Joofのインサイドプレイを止めることができない。最後まで懸命にリングにアタックし続ける明成ではあるが、ディフェンスリバウンドを確実に拾われ、セカンドチャンスを抑えない。その間、開志国際は#4小池、#5小栗のドライブで得点しリードを広げていく。第4Pを95対75で試合終了。開志国際がファイナリストとなった。敗れはしたものの明成の最後までリングにアタックし続ける姿は多くの人に感動を与えてくれた。

文責：葛西 太勝

主審	青木 俊博	副審	宇田津 浩史
副審	塩谷 禎	副審	
スコアラー	木曾川 高校	サブスコア担当者	